

ミニ・ディスクロージャー誌  
2018年3月期 営業のご報告

# 2018

**WITH YOUR  
CHALLENGE** 

応援したい。挑戦するすべての人を。



イメージキャラクター  
鈴木愛理

# Contents

- |   |  |            |                   |
|---|--|------------|-------------------|
| 1 | 千葉銀行のプロフィール                                    | 9          | 地方創生に向けた取組み       |
| 2 | 中期経営計画<br>「ベストバンク2020 Final Stage<br>－価値共創の3年」 | 10         | ダイバーシティの推進        |
| 3 | 頭取インタビュー                                       | 11         | ちばぎんグループのESGへの取組み |
| 6 | 農業法人の設立  | 13         | 株式の状況             |
| 7 | アライアンス戦略                                       | 14         | 2018年3月期 業績のご報告   |
| 8 | フィンテックの取組み                                     | 15         | 財務諸表(要約版)         |
|   |  | 18         | ちばぎんグループのご紹介      |
|   |  | <b>裏表紙</b> | ちばぎんネットワーク        |

## 千葉銀行のプロフィール(2018年3月31日現在)

設 拠	立 点	1943(昭和18)年3月 国内 181店舗(本支店158、特別出張所5、出張所15、仮想店舗3) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 48,635か所 (うちイーネットとの提携による共同ATM12,894か所、セブン銀行との提携による共同ATM 22,668か所、ローソンとの提携による共同ATM 12,783か所) 海外 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 3駐在員事務所(上海、シンガポール、バンコク)	
従 業 員 数	4,343人		
総 資 産	14兆3,036億円		
預 金	12兆170億円		
貸 出 金	9兆8,160億円		
資 本 金	1,450億円		
発行済株式数	865,521千株		
総自己資本比率	連結13.18% 単体12.55%		

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。



### 当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772



ちばぎんをもっと近くに、もっと便利に。

ちばぎんとお客さまを結び  
身近な窓口のご紹介です。

※こちらのQRコードを読み込んでください。

ちばぎんアプリ



LINE



Facebook



第13次中期経営計画

ベストバンク 2020  
Final Stage-価値共創の3年

2017.4.1~2020.3.31



目指す姿

- 本中期経営計画は、前中期経営計画から掲げている2020年の目標である「リテール・ベストバンク」グループをつくりあげ、中長期的に予想される環境変化に向けた基盤とするための総仕上げの3年です。
- 「お客さま」「株主」「従業員」「地域社会」など多様なステークホルダーとともに共通価値を創造（価値共創）することで、先進的かつ高い生産性と揺るぎない信頼を確立し、地域とともに持続的な成長を実現していきます。

先進的なサービスで個人や中小企業をはじめとした地域のお客さまに、最高の満足と感動を提供する  
**「リテール・ベストバンク」グループ** を目指します。

CS (お客さま)

「お客さま第一主義」を徹底し、先進的なサービスやソリューションの提供を行うじてお客さまのニーズにスピード感をもってお応えします

ES (従業員)

ダイバーシティの一層の推進や働き方改革をつうじて、職員一人ひとりが能力を最大限発揮し働きがいのある魅力的な職場をつくります

SS (地域社会)

地域のリーディングバンクとして、グループの総力を結集し、地域の活性化をリードしていきます

主要課題

お客さまとの共通価値の創造

全ての職員が輝く働き方改革の実現

持続的成長に向けた経営態勢の強化

中期経営計画計数項目の進捗状況

(単位：億円)

目標とする指標	2017/3 【実績】	2018/3 【実績】	2020/3	
			進捗率	【計画】
親会社株主に帰属する当期純利益	527	537	—	600
連結ROE(株主資本ベース)	6.86%	6.76%	—	7%台
連結普通株式等Tier1比率	12.65%	12.48%	—	12%台
貸出金残高	93,053	98,160	42.7%	105,000
預金残高	115,657	120,170	48.3%	125,000
グループ預かり資産残高	20,126	20,499	7.7%	25,000



八木 ひとみさん(インタビュー)

2008年に山口朝日放送でアナウンサーとしてスタート。TBS「ニュースバード」や、「日経CNBC」を経て、2018年3月より、BSジャパン「日経モーニングプラス」のキャスターを務める。



取締役頭取 佐久間 英利

1976年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、2003年6月取締役就任、2009年3月取締役頭取に就任。

### 2017年度を振り返って

**八木**：頭取にとって、昨年度はどのような1年となりましたか。

**頭取**：昨年度は地域とともに持続的に成長していくため、着実に歩みを進めた年となりました。

法人部門では、事業承継やビジネスマッチングといったソリューション提案が着実に実を結んでおり、手数料収入も継続的に伸びています。

個人部門では、非対面チャネルの強化に力を入れました。ホームページ上でお客様のニーズに沿ったポートフォリオを提案するロボ・アドバイザーがご利用いただけるようになったほか、API<sup>\*1</sup>を活用したサービスの提供を開始しています。

このほか、自治体が進める地方創生の施策を積極的に支援しています。廃校となった小学校の跡地活用を促す長南町

の事例では、県の空き公共施設活用事業と連携しながら企業誘致に成功し、地方創生の特徴的な取組事例として認定され、大臣表彰をいただきました。

これからも「地域の発展なくして自らの成長なし」という考えのもと、グループの力を結集して地域経済の活性化に貢献していく所存です。

**八木**：今年、新しい試みとして農業法人を設立されたと伺いました。

**頭取**：千葉県は農業産出額全国第4位の農業県ですが、近年、農業の担い手不足や農家の高齢化による耕作放棄地の増加などが問題となっています。そこで、地域農業の発展と競争力向上に向けた新たな取組みとして、地域の中核企業等に出資を呼びかけ、今年3月に農業法人「株式会社フレッシュファームちば」を設立して農業経営に参画することとしました。

既に、千葉縣市原市内で水稻栽培を始

めています。近隣農家などから助言をいただきつつ、IoTなどの先進的な農業技術を取り入れながら法人経営による大規模化を図るほか、顧客ネットワークを活かした販路をしっかりと確保していくことで、生産性と収益性の高い農業経営を目指していきます。

**八木**：それは意義深い取り組みですね。2018年3月期の決算について詳しく教えてください。

**頭取**：連結経常利益は前期比8億円増加の784億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比10億円増加の537億円となりました。業績予想を上回る堅調な業績となり、純利益は連結・単体ともに過去3番目の業績を収めることができました。さらに、連結総自己資本比率は13.18%と引き続き高い健全性を維持しています。

貸出金は、中小企業向け貸出や住宅ローンなどお客さまのニーズに積極的にお応えし、前期末比5,106億円増加の9兆8,160億円となりました。また、預金は、個人預金の増加などにより前期末比4,512億円増加し12兆170億円と、12兆円を突破しました。

※1 Application Programming Interface：外部から銀行システムに接続し、安全に情報を取得できるようにする仕組み。

## 加速するアライアンス戦略

**八木**：現在注力されているアライアンス戦略についてお伺いします。「千葉・武蔵野アライアンス」は提携開始から2年が経ちました。

**頭取**：2年目となった昨年度もスピード感をもって様々なことに取り組みました。金融商品仲介業務では、ちばぎん証券が埼



玉県内に4店舗を構え、お客さまのニーズにお応えしているほか、相続関連業務での提携も実現しました。また、今年6月には浜松町エリアに両行の営業拠点を共同設置し、協業を進めています。

これからも両県の有益な情報をお客さまに提供し、千葉県はもとより、首都圏全体でのシェア拡大を目指していきます。

**八木**：「TSUBASAアライアンス」も順調に連携が広がっているようですね。

**頭取**：「TSUBASAアライアンス」は、今年4月に北越銀行が加わり、7行が地域の枠を超えたパートナーシップをさらに進めています。

例えば、当行と第四銀行は、今年2月に事務部門の共同化について合意し、業務効率化やコスト削減を進めていきます。また、今年4月には共同出資会社のT&Iイノベーションセンターとともに開発を進めていたAPIのプラットフォーム「TSUBASA FinTech共通基盤」が完成し、様々なフィンテックサービス※2をお客さまに提供できるようになりました。

このほか、ちばぎんアセットマネジメントが組成した投資信託の東邦銀行・北洋銀行・第四銀行での販売、相続関

連業務における提携など、当初の想定以上の効果が出ています。

今後も、地銀の持続的成長の新たな姿をつくり上げていくために、両アライアンスを一層深化させていく考えです。

※2 金融 (Finance) と技術 (Technology) を組み合わせた造語で、ITを活用した革新的な金融サービスのこと。

## ダイバーシティの浸透

**八木**：話題は変わりますが、ダイバーシティ、特に女性活躍の分野でよく千葉銀行の名前をお聞きします。

**頭取**：ダイバーシティの推進は重要な経営戦略であり、行内セミナーや自治体・他業態との勉強会などをつうじて職員の間でもダイバーシティに関する意識がかなり浸透してきていると思います。

さらに、働きやすい・働きがいのある職場環境の整備も進めています。今年に入り、柏市内と千葉市内に「ひまわり保育園」を開園しました。これにより当行の事業所内保育所は3か所となります。

こうした取組みが外部機関からも高い評価をいただき、今年3月、経産省・東証より「なでしこ銘柄」に地方銀行として初めて選出していただきました。



## 千葉銀行が目指す姿

**八木**：今後の戦略を教えてください。

**頭取**：まずは、「お客さま第一主義」をベースとしたコンサルティング営業をさらに進めていきます。

お客さまのために、お客さまの課題解決に向けた提案を積極的に行っていくことが結果として当行の収益にも結び付いていくと考えています。

現在の総人員4,300人を維持しつつ、成長分野への人員再配置を進めていく考えです。そのために、内部、融資、本部の3部門での抜本的な業務改革や、RPA<sup>※3</sup>の導入などにより、中長期的に既存業務はより少ない人員で運営できる態勢を構築していきます。

ガバナンスの面では、各グループ会社を所管する責任者を配置する「グループチーフオフィサー制」を新たに導入し、グループ一体経営をさらに高度化させていきます。

グループ役職員が一致団結して、先進的なサービスで個人や中小企業をはじめとする地域のお客さまに最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループを目指してまいります。

**八木**：これからも千葉県の発展に、ますます重要な役割を果たしてくださることを期待しています。

**頭取**：ありがとうございます。これからも地域の皆さまのご期待に応えられるよう、全力を尽くしてまいります。

※3 Robotic Process Automation：ロボット技術を活用したソフトウェアにより、定型業務を代替する業務自動化の仕組み。

## 農業法人の設立

2018年3月、当行は地域企業等15社とともに農業法人「株式会社フレッシュファームちば」を立ち上げました。



名 称	株式会社フレッシュファームちば
設 立 日	2018年3月16日(金)
代 表 者	代表取締役 池田 等(千葉銀行 参与)
所 在 地	千葉県市原市牛久283-16
従 業 員 数	1名(千葉銀行から出向)
資 本 金	1,450万円
株 主	株式会社千葉銀行、アヅマ株式会社、小湊鐵道株式会社、株式会社せんだう、株式会社ちばぎん総合研究所、ちばぎんリース株式会社、千葉製粉株式会社、東方地所株式会社、株式会社ナナミ、株式会社日立製作所、平林物産株式会社、富洋観光開発株式会社、株式会社マザー牧場、株式会社武蔵野銀行、ほか2社(計16社) <small>※当行以外五十音順</small>
事 業 内 容	農業
事 業 地	千葉県市原市皆吉(2.09ヘクタール)

### どのような農業を目指していくの？

農業の担い手不足や耕作放棄地の増加といった地域農業が抱える問題の解消に向けて、共同出資者の方々とともに持続可能な農業の新モデルを追求していきたいと考えています。法人経営による大規模化や6次産業化にも取り組んでいくなかで、IoTなどの先進技術も研究してまいります。また、就農希望者や近隣農家さんとの協働も重要であると考えており、農業をつじた地域のコミュニティ形成を目指していきます。



池田社長

### 農作物は何をつくるの？

まずは市原市皆吉地区で約2ヘクタールの水田を借り受け、水稻栽培を始めています。地域の農家さんに受け入れてもらうこと、農業技術を身につけ、しっかりと収穫できるようにすることが当面の目標です。食味が良いお米がとれる地域ですので、秋にはおいしいお米をお届けしたいと思います。



社員の竹内さん

当行は、地域のお客さまのメリットを追求し、企業価値向上を実現するためアライアンス戦略を加速させています。



## 千葉・武蔵野アライアンス—武蔵野銀行との包括提携

### 都内営業拠点の共同設置(2018年6月)

当行にとって都内15か所目の営業拠点となる「浜松町法人営業所」(東京都港区)は、武蔵野銀行の「浜松町オフィス」と共同で設置し、協調融資の提案や顧客紹介制度の活用など、共同設置のメリットを活かした営業活動を展開してまいります。

### 最近の主な提携施策

- ちばぎん証券草加支店、所沢支店オープン(2017年12月)
- ATM共同化開始(2017年12月)
- 地方創生私募債受託に伴う共同寄贈(2018年3月)
- API活用に関する業務提携契約締結(2018年3月)



ちばぎん証券[草加支店]テープカットの様子

## TSUBASAアライアンス—地銀7行による広域連携

### ロゴの制定(2018年2月)

一つひとつのパーツが集まって鳥の翼となり、飛び立つ姿が参加行\*の連携と飛躍を表現しています。

\* 千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行



### 北越銀行の参加(2018年4月)

第四銀行との経営統合に合意した北越銀行が新たに加わり、参加行は7行となりました。

### 最近の主な共同化施策

- 第四銀行との事務部門の共同化に向けた合意(2018年2月)
- 東邦銀行との基幹系システム共同化に向けた本格的検討の開始(2018年3月)
- 中国銀行との「日銀ネットSTPシステム」の共同利用開始(2018年5月)



第四銀行との事務部門の共同化に向けた基本合意書締結の様子

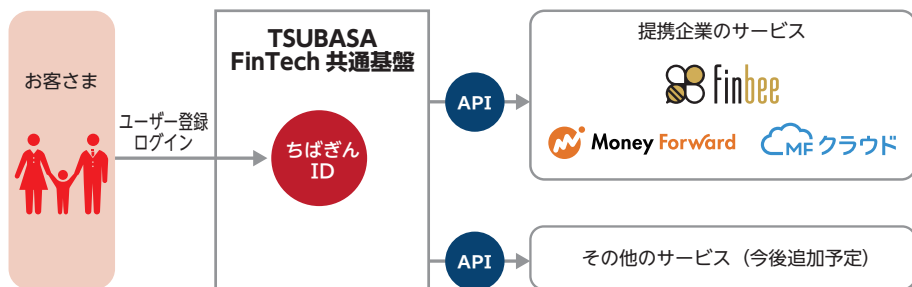


## フィンテックの取組み

当行は、IT技術を活用し、お客さまに先進的で利便性の高いサービスを提供するとともに、業務効率化にも積極的に取り組んでいます。

### フィンテックサービスの提供開始(2018年4月)

オープンAPI<sup>\*</sup>のプラットフォーム「TSUBASA FinTech 共通基盤」により、株式会社ネストエッグの自動貯金アプリ「finbee」および株式会社マネーフォワードの自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」・ビジネス向けクラウドサービス「MFクラウドシリーズ」の提供を開始しました。なお、API接続にあたっては「ちばぎんID」により安全かつスムーズにお客さまの認証を行います。



<sup>\*</sup> Application Programming Interface : 外部から銀行システムに接続し、安全に情報を取得できるようにする仕組み。

### RPA(Robotic Process Automation)の本格導入(2018年4月)

業務効率化に向けた取組みとして、このほど公的機関からの取引照会業務においてRPA<sup>\*</sup>を導入しました。本業務では、RPAの導入と一部業務プロセスの見直しにより、年間3,680時間分の作業量削減と業務の精度向上を見込んでいます。今後、他の本部業務にも順次導入を進めていく方針です。

<sup>\*</sup> ロボット技術を活用したソフトウェアにより、定型業務を代替する業務自動化の仕組み。

### ビジネスブログ「ちばぎんブログ」の開設(2018年4月)

非対面チャネルでのお客さまとの接点拡大を目的としてホームページ上に「ちばぎんブログ」を開設しました。お客さまにとって関心が高いテーマを選び、銀行ならではの視点で記事を追加していきます。



当行は、地域のトップバンクとしてグループを挙げて「地方創生」への取組みに積極的に参画してまいります。

### 観光用レンタサイクルの贈呈(2018年4月)

サイクルツーリズムによる観光振興を目的に、2015年度より「ちばプロモーション協議会」をつうじて、県内市町村へ観光用レンタサイクルを贈呈しています。今年度贈呈した34台は東金市・旭市・匝瑳市・多古町・睦沢町の3市2町で活用されます。



### 株式会社マイナビとの地域活性化に関する包括連携協定の締結(2018年5月)

当行が自治体と連携して取り組んでいる小学校跡地活用事業に、人材広告大手の株式会社マイナビを誘致したことがきっかけとなり、同社と地域活性化に関する包括連携協定を締結しました。

今後両者は緊密に連携して、自治体が取り組むまちづくりや移住定住の促進、雇用の創出、農業・観光の振興、空き公共施設活用などの地方創生の施策に積極的に協力していきます。



マイナビ中川社長(右)との協定書締結の様子

### 当行の地方創生への取組みが評価され、大臣表彰を受けました!

当行が取り組む「県の事業と連携した長南町小学校跡地活用への銀行・グループ一体での支援」が内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定され、今年2月、梶山内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より表彰を受けました。



事例の内容は、当行が千葉県長生郡長南町の4つの小学校の跡地活用を支援するため、グループのちばぎん総合研究所が受託した千葉県の空き公共施設活用事業と連携して企業誘致を進めた結果、2社の誘致に結びつけたというもので、交流人口や雇用の増加に貢献したことなどが高く評価されました。

## ダイバーシティの推進

当行は、ダイバーシティを一層推進し、性別・年齢を問わず全ての職員が輝ける組織を実現します。

### 平成29年度「なでしこ銘柄」に選定(2018年3月)

経済産業省・東京証券取引所が共同実施する平成29年度「なでしこ銘柄」に当行は地方銀行として初めて選定されました。「なでしこ銘柄」とは毎年、経済産業省と東京証券取引所が女性活躍推進に優れた上場企業を業種ごとに選定し、「中長期の企業価値向上」を重視する投資家に対して魅力ある銘柄として紹介しているもので、当行は経営トップや経営層が女性活躍推進の重要性を繰り返し発信している点などが評価されました。



### 事業所内保育所「ひまわり保育園(かしわ、ちば)」の開園(2018年4月、6月)

「ひまわり保育園」は、女性の就業継続・キャリア形成支援の観点から、子育てをしながら働き続けられる環境整備の一環として設置している、グループ従業員の子どもを対象とした企業主導型の保育園です。

今年、柏市内と千葉市内に新たに設置し、これで当行の事業所内保育所は3か所となります。



「ひまわり保育園(かしわ)」施設内の様子



「ひまわり保育園(かしわ)」開園式の様子

## ちばぎんグループのESGへの取組み

ちばぎんグループでは、中長期的に社会価値と経済価値との両立を目指す「持続的経営」の実現に向け、ESG(環境・社会・ガバナンス)課題への取組みを積極的に進めています。

### Environment ～環境～



#### ■ 本業をつうじた環境への貢献

再生可能エネルギーの活用に取り組むお客さまを広く支援しており、2017年12月にバイオマス発電事業に対するプロジェクトファイナンスを組成するなど、取組みを強化しています。

また、世界銀行(国際復興開発銀行)発行の「グリーンボンド」(インドルピー建)をTSUBASAアライアンス行のグループ証券子会社が共同販売し、当行においても金融商品仲介業務の形態で取り扱いました。〔ちばぎん証券累計販売額:2,611百万円(2017年度)〕

#### ■ 森林整備活動

松くい虫や津波の被害により、失われつつある海岸保安林を再生していくことを目的に、「ちばぎんの森」森林整備活動を行っています。

2018年5月には、総勢約200人の当行役職員やOB・OGのボランティアが山武市蓮沼の「ちばぎんの森(第5)」にて、クロマツ・マサキ等の苗木5,000本の植樹を行いました。今後、これまでの「ちばぎんの森」同様、定期的の下草刈り等の育樹活動を継続していきます。



### Social ～社会～



#### ■ 「地方創生私募債(愛称:みらいはぐくみ債)」の取扱い

学校教育の整備等をつうじて地域社会へ貢献していくことを目的に、当行が私募債の発行企業から受け取る引受手数料の一部で教育関連等の物品を購入し、これを発行企業が指定する学校等に寄贈する「地方創生私募債(愛称:みらいはぐくみ債)」を取り扱っています。2018年3月期までの発行額の累計は344件/339億円となっています。

#### ■ 福祉への取組み

グループ会社の「ちばぎんハートフル株式会社」では、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社として障がい者の雇用に積極的に行っており、現在30名の障がいのある方が、銀行で使用する伝票の作成や為替取引におけるデータ入力等の業務を行っています。

また、公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」をつうじて、社会福祉活動を資金面からサポートしており、助成先累計は95先、交付総額は53百万円となりました。



## Governance ~ガバナンス~

### 取締役・取締役会

取締役会は、社外取締役3名を含む9名の取締役で構成（社外取締役が占める割合は3分の1）され、経営方針やその他重要事項を決定するとともに、取締役および執行役員の仕事執行を監督します。

取締役の選解任および役員報酬等について、取締役会議長の諮問機関として「指名・報酬・経営諮問委員会」を設置しており、委員の過半数は社外取締役から選任しています。

### 監査役・監査役会

当行は、5名の監査役のうち過半数の3名を社外監査役とする監査役会設置会社の形態を採用しています。特に社外監査役2名を含む3名の常勤監査役が、取締役会をはじめとする重要会議への出席および重要書類の閲覧等をつうじ、業務執行状況について客観的・合理的な監査を行っており、当行の経営に対する監督機能を十分に果たしています。

### グループ管理体制

「グループチーフオフィサー制<sup>\*</sup>」を導入し、グループCEOによる全体統括のもと、所管分野の責任者としてグループチーフオフィサーを配置することでグループ横断的な経営管理体制を構築しています。

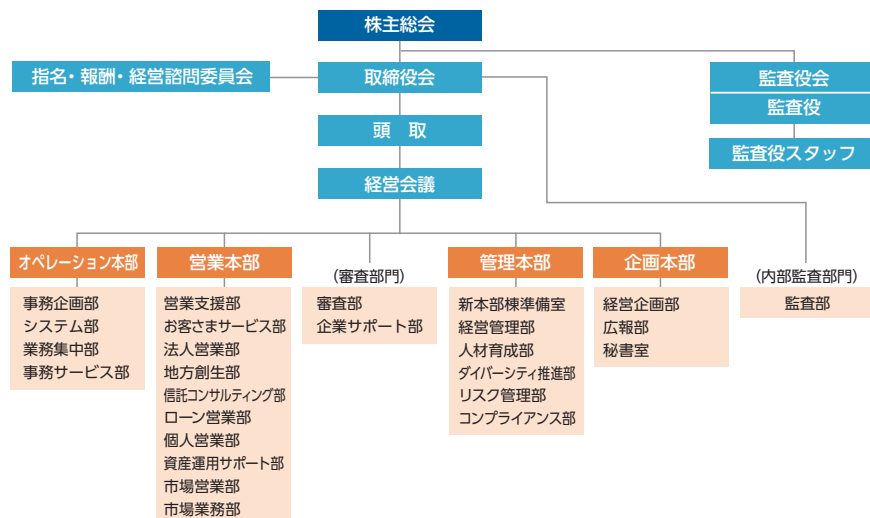
<sup>\*</sup>以下のグループチーフオフィサーを配置

- ・グループCEO(Chief Executive Officer)：最高経営責任者
- ・グループCSO(Chief Strategy Officer)：最高企画責任者
- ・グループCBO(Chief Business Officer)：最高営業責任者

- ・グループCOO(Chief Operating Officer)：最高執行責任者
- ・グループCRO(Chief Risk Officer)：最高リスク管理責任者
- ・グループCIO(Chief Information Officer)：最高情報責任者

## ●コーポレート・ガバナンス体制図

(2018年6月27日現在)



## 株式の所有者別状況

2018年3月31日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)
政府・地方公共団体	2	9	0.00
金融機関	88	345,625	40.12
金融商品取引業者	32	10,412	1.21
その他の法人	1,073	121,174	14.06
外国法人等	548	202,837	23.54
個人その他	20,663	181,542	21.07
計	22,406	861,599	100.00

- (注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記の他、単元未満株式は3,922,087株となっております。(2018年4月1日より単元株式数を1,000株から100株へ変更しております)  
 2. 自己株式84,574,449株は「個人その他」に84,574単元、単元未満株式に449株含まれております。なお、自己株式84,574,449株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は84,573,449株です。  
 3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2単元含まれております。

## 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

## 定時株主総会

毎年6月

## 基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

## 公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行業株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

## 大株主上位10名

2018年3月31日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	46,687	5.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	36,004	4.15
日本生命保険相互会社	26,870	3.10
第一生命保険株式会社	26,230	3.03
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	21,537	2.48
明治安田生命保険相互会社	18,291	2.11
住友生命保険相互会社	17,842	2.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	17,707	2.04
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	14,939	1.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	13,432	1.55

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式84,573千株(9.77%)があります(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となっておりますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。  
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。  
 3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

## 株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株以上  
保有の株主

## 株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)より、千葉県の特産品等、当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待\*が受けられる株主優待クーポン、TSUBASAアライアンスに参加する地方銀行4行(第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行)の地元特産品等のいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有株数	1,000株以上10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等3,000円相当 または株主優待クーポン1枚 またはTSUBASAアライアンス 共同企画特産品等3,000円相当	千葉県の特産品等6,000円相当 または株主優待クーポン2枚 またはTSUBASAアライアンス 共同企画特産品等6,000円相当

- \*金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。  
 1. 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乗せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)  
 2. 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分のご両替が上限)  
 3. 遺言信託引受承諾手数料20%割引  
 4. ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)  
 5. ちばぎん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)

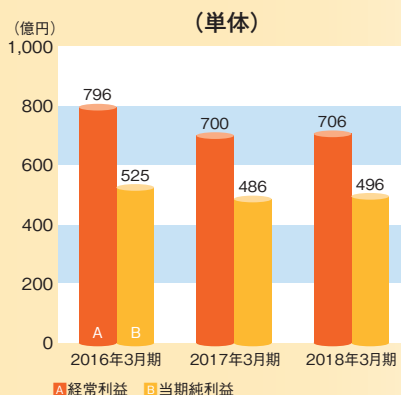
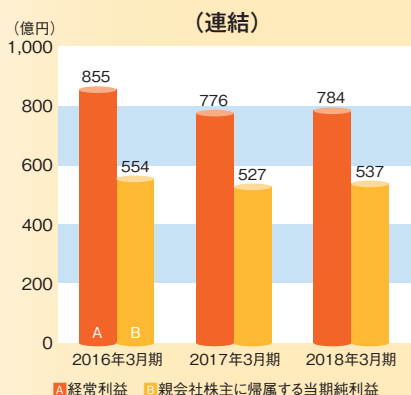
2018年3月期は、連結経常利益が前期比8億円増加の784億円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比10億円増加の537億円となりました。業績予想値を上回る堅調な業績となり、純利益は連結・単体ともに過去3番目の業績を収めることができました。

総自己資本比率は、連結で13.18%、単体で12.55%となりました。

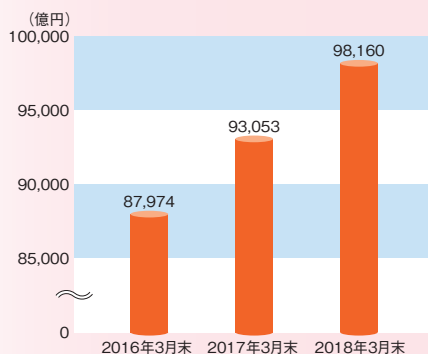
貸出金は、前期末比5,106億円増加の9兆8,160億円となりました。そのうち、事業者向け貸出が前期末比3,124億円増加、住宅ローンが前期末比1,493億円増加しました。

預金は、個人預金の増加などにより、前期末比4,512億円増加し12兆170億円となりました。

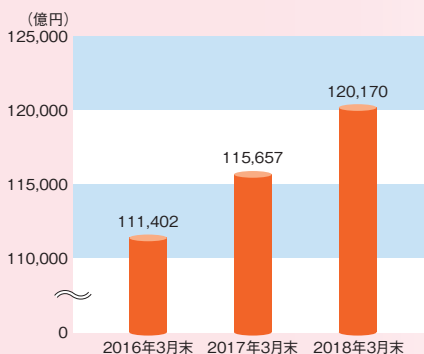
## 損益の状況



## 貸出金の状況



## 預金の状況



## ■ 連結貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	2017年3月末	2018年3月末	科 目	2017年3月末	2018年3月末
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
現金預け金	1,806,514	1,845,198	預金	11,550,592	12,003,407
コールローン及び買入手形	154,078	75,801	譲渡性預金	434,192	464,971
買現先勘定	14,999	14,999	コールマネー及び売渡手形	250,000	—
買入金銭債権	21,626	21,448	売現先勘定	—	17,085
特定取引資産	129,820	122,069	債券貸借取引受入担保金	318,992	260,387
金銭の信託	28,140	30,911	特定取引負債	16,474	12,632
有価証券	2,381,490	2,169,542	借用金	279,442	334,405
貸出金	9,268,854	9,774,912	外国為替	692	587
外国為替	4,563	3,187	社債	117,267	113,714
その他資産	144,579	185,943	信託勘定借	62	963
有形固定資産	101,185	99,476	その他負債	108,149	120,458
無形固定資産	10,942	11,858	退職給付に係る負債	22,838	14,898
退職給付に係る資産	—	1,072	役員退職慰労引当金	169	132
繰延税金資産	5,326	4,535	睡眠預金払戻損失引当金	2,920	3,074
支払承諾見返	56,172	48,569	ポイント引当金	506	482
貸倒引当金	△ 32,551	△ 27,714	特別法上の引当金	22	21
			繰延税金負債	25,765	31,930
			再評価に係る繰延税金負債	10,930	10,852
			支払承諾	56,172	48,569
			<b>負債の部合計</b>	<b>13,195,193</b>	<b>13,438,578</b>
			<b>(純資産の部)</b>		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			利益剰余金	566,050	600,931
			自己株式	△ 52,219	△ 59,256
			<b>株主資本合計</b>	<b>781,033</b>	<b>808,878</b>
			その他有価証券評価差額金	109,427	121,950
			繰延ヘッジ損益	1,510	1,822
			土地再評価差額金	10,733	10,802
			退職給付に係る調整累計額	△ 2,577	△ 730
			<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>119,093</b>	<b>133,846</b>
			新株予約権	423	511
			<b>純資産の部合計</b>	<b>900,550</b>	<b>943,236</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>14,095,743</b>	<b>14,381,815</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>14,095,743</b>	<b>14,381,815</b>



## ■ 単体貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	2017年3月末	2018年3月末	科 目	2017年3月末	2018年3月末
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
現金預け金	1,802,733	1,841,522	預金	11,565,778	12,017,034
コールローン	154,078	75,801	譲渡性預金	478,992	513,471
買現先勘定	14,999	14,999	コールマネー	250,000	-
買入金銭債権	11,741	11,328	売現先勘定	-	17,085
特定取引資産	129,232	121,585	債券貸借取引受入担保金	318,992	260,387
金銭の信託	21,140	22,111	特定取引負債	16,474	12,632
有価証券	2,373,637	2,156,704	借入金	277,646	333,334
貸出金	9,305,388	9,816,065	外国為替	692	587
外国為替	4,563	3,187	社債	117,267	113,714
その他資産	79,287	114,360	信託勘定借	62	963
有形固定資産	96,120	94,415	その他負債	53,245	62,395
無形固定資産	10,752	11,675	退職給付引当金	19,140	12,486
前払年金費用	718	442	睡眠預金払戻損失引当金	2,920	3,074
支払承諾見返	44,988	38,477	ポイント引当金	268	239
貸倒引当金	△ 23,123	△ 18,978	繰延税金負債	24,577	28,884
			再評価に係る繰延税金負債	10,930	10,852
			支払承諾	44,988	38,477
			<b>負債の部合計</b>	<b>13,181,978</b>	<b>13,425,622</b>
			<b>(純資産の部)</b>		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			資本準備金	122,134	122,134
			利益剰余金	514,303	545,044
			利益準備金	50,930	50,930
			その他利益剰余金	463,373	494,114
			固定資産圧縮積立金	230	351
			別途積立金	410,971	445,971
			繰越利益剰余金	52,172	47,792
			自己株式	△ 52,219	△ 59,256
			<b>株主資本合計</b>	<b>729,287</b>	<b>752,991</b>
			その他有価証券評価差額金	102,326	111,947
			繰延ヘッジ損益	1,510	1,822
			土地再評価差額金	10,733	10,802
			<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>114,570</b>	<b>124,572</b>
			新株予約権	423	511
			<b>純資産の部合計</b>	<b>844,280</b>	<b>878,076</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>14,026,259</b>	<b>14,303,698</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>14,026,259</b>	<b>14,303,698</b>

## ■ 連結損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	(2016年4月 1日から 2017年3月31日まで)	(2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)
	2017年3月期	2018年3月期
<b>経常収益</b>	<b>227,811</b>	<b>234,096</b>
資金運用収益	135,533	137,498
（うち貸出金利息）	106,049	107,058
（うち有価証券利息配当金）	25,282	25,684
信託報酬	2	16
役務取引等収益	48,282	52,701
特定取引収益	4,825	5,686
その他業務収益	5,464	5,378
その他経常収益	33,702	32,815
<b>経常費用</b>	<b>150,207</b>	<b>155,612</b>
資金調達費用	16,589	18,925
（うち預金利息）	4,476	5,348
役務取引等費用	17,871	17,777
その他業務費用	4,237	3,249
営業経費	90,368	91,193
その他経常費用	21,141	24,466
<b>経常利益</b>	<b>77,604</b>	<b>78,484</b>
<b>特別利益</b>	<b>38</b>	<b>70</b>
固定資産処分益	38	70
<b>特別損失</b>	<b>1,036</b>	<b>1,465</b>
固定資産処分損	765	449
減損損失	270	107
本部棟建替に伴う損失	-	907
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>76,606</b>	<b>77,089</b>
法人税、住民税及び事業税	20,050	22,969
法人税等調整額	3,826	323
<b>法人税等合計</b>	<b>23,876</b>	<b>23,293</b>
<b>当期純利益</b>	<b>52,730</b>	<b>53,796</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	52,730	53,796

## ■ 単体損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	(2016年4月 1日から 2017年3月31日まで)	(2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)
	2017年3月期	2018年3月期
<b>経常収益</b>	<b>201,230</b>	<b>205,169</b>
資金運用収益	137,720	140,401
（うち貸出金利息）	105,911	106,996
（うち有価証券利息配当金）	27,744	28,795
信託報酬	2	16
役務取引等収益	39,444	43,476
特定取引収益	2,590	2,001
その他業務収益	5,447	5,375
その他経常収益	16,025	13,897
<b>経常費用</b>	<b>131,224</b>	<b>134,562</b>
資金調達費用	16,558	18,887
（うち預金利息）	4,476	5,348
役務取引等費用	20,343	19,735
その他業務費用	4,237	3,249
営業経費	84,483	85,082
その他経常費用	5,602	7,606
<b>経常利益</b>	<b>70,005</b>	<b>70,607</b>
<b>特別利益</b>	<b>33</b>	<b>64</b>
固定資産処分益	33	64
<b>特別損失</b>	<b>1,034</b>	<b>1,417</b>
固定資産処分損	763	401
減損損失	270	107
本部棟建替に伴う損失	-	907
<b>税引前当期純利益</b>	<b>69,004</b>	<b>69,254</b>
法人税、住民税及び事業税	17,218	19,783
法人税等調整額	3,167	△ 184
<b>法人税等合計</b>	<b>20,385</b>	<b>19,598</b>
<b>当期純利益</b>	<b>48,619</b>	<b>49,655</b>


# ちばぎんグループのご紹介

「グループ体経営」の実現に向けた態勢整備の一環として、グループ会社のうち9社の本社を幕張新都心地区の「ちばぎん幕張ビル」に集約しています。



ちばぎん幕張ビル

会社名	主な業務内容
株式会社総武	千葉銀行の店舗・厚生施設の賃貸・保守・管理や、調度品・消耗品などの調達・販売を行っています。
ちばぎんキャリアサービス株式会社	千葉銀行や地元企業などへの人材紹介のほか、企業の給与・経理業務の事務代行を行っています。
ちば債権回収株式会社	債権の管理・回収業務を行っています。
ちばぎんハートフル株式会社	名刺・ゴム印の作成やダイレクトメールなどの封入・発送業務のほか、千葉銀行の事務代行業務を行っています。
ちばぎん証券株式会社	株式・債券・投資信託などの金融商品を取り扱う証券業務を行っています。
ちばぎん保証株式会社	住宅ローン・カードローンなどの保証業務のほか、売上代金・各種料金・会費などを回収する集金代行業務を行っています。
ちばぎんジェシービーカード株式会社	JCBブランドのカード業務や信用保証業務などを行っています。
ちばぎんディーシーカード株式会社	DCブランドのカード業務や信用保証業務などを行っています。
ちばぎんリース株式会社	OA機器・車両・産業機械・店舗機器・医療機器・リサイクル機器などのリース業務を行っています。
ちばぎんコンピューターサービス株式会社	ソフトウェア開発やコンピュータ機器販売、情報処理・サーバ運用に関する業務代行などを行っています。
ちばぎんキャピタル株式会社	投資事業組合（ファンド）の運営・管理業務やM&Aのアドバイザー業務、株式上場を目指す企業の新株引受けなどを行っています。
ちばぎんアセットマネジメント株式会社	投資信託の組成・運用や、豊富な経験と専門的知見に基づいた投資助言などを行っています。
株式会社ちばぎん総合研究所	経営コンサルティングや各種調査受託・研究、ビジネスマッチング業務などを行っています。
T&Iイノベーションセンター株式会社	フィンテックの調査・研究およびこれを活用した金融サービスの企画・開発などを行っています。

※  は「ちばぎん幕張ビル」に入居しています。

(2018年3月31日現在)

# ちばぎんネットワーク



## コンサルティングプラザ、ローンプラザ、ほけんの窓口@ちばぎん

コンサルティングプラザ	4か所(千葉・柏・船橋・市川)
ローンプラザ	3か所(千葉中央・柏・船橋)
ほけんの窓口@ちばぎん	2か所(千葉・船橋)

## 店舗数

県内	160店舗(うち、特別出張所5店舗、出張所14店舗、仮想店舗3店舗)
県外	21店舗(東京都13店舗・出張所1店舗、大阪府1店舗、埼玉県3店舗、茨城県3店舗)
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	3か所(上海、シンガポール、バンコク)
両替出張所	3か所

自転車店舗外現金自動設備	290か所(うち、県内285か所)
イーネットとの提携による共同ATM	12,894か所(うち、県内580か所)
セブン銀行との提携による共同ATM	22,668か所(うち、県内1,286か所)
ローソンとの提携による共同ATM	12,783か所(うち、県内551か所)

2018年3月31日現在

## 株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2  
 TEL.043-245-1111(代表)  
<http://www.chibabank.co.jp/>  
 2018年6月発行

